

## ～ハクチョウ飛来・でもエサやりは？～

今年も11月20日過ぎからハクチョウが越冬のために広瀬川に飛来が始まりました。絵になる光景です。

広瀬川では、ハクチョウがパンなどの給餌を覚え、6年前から他の鳥類を含め飛来数が徐々に増えてきました。市民がハクチョウに癒しを感じることは広瀬川のイメージにも良いことです。

しかし、ハクチョウは本来、草食性で水草や陸上の青草を食べる生物ですから、人がハクチョウ等にエサを与えることは、生態学的に良くないと言われていています。特に高カロリー、塩分の多いパンやスナック、せんべい等の給餌は、鳥類に悪いことは当然ですね。

(広瀬橋上流 11/29)



因みに2008年の鳥インフルエンザ発生から県内伊豆沼などの飛来地で給餌を止めています。

6年前から広瀬川に飛来するようになったハクチョウ。給餌を止めればハクチョウは来なくなるでしょう。市民感情から「エサやり禁止」までは難しいのでは、と日本野鳥の会宮城県支部M氏の意見でした。

その意見から、自然の生態系を考慮した慎重な行動が何よりもハクチョウに対する愛情だと感じました。広瀬川のハクチョウたちを観察していると、高水敷(水辺の陸上)で雑草を盛んについばむ光景が見られます。大切なことは、広瀬川にも小魚や水草を含めた生物のバランスがとれ、鳥類も適地と判断して飛来する。その環境保全こそが何よりも重要なことだと思いますが、皆様は如何でしょうか。

さて、12/08は今年最後の清掃です。終了後に落葉を焚いて焼き芋を頬張りましょう。ぜひ家族でのご参加をお待ちしています。



<予定> (12月～来年1月) (※) 2月は清掃お休みです

12/08 (土) 10:00 ～ 広瀬橋地区清掃 終了後に焼き芋会をします

1/12 (土) 10:00 ～ 広瀬橋集合 初歩き「六郷堀と沖野館跡」探索 新年会 (自由参加2千円)

<報告>

11/09「郡山堰に関するヒアリング」 滋賀県立大学環境学部建築デザイン学科教授 村上修一氏  
郡山堰と親水空間について、地域の歴史的背景や住民意識などのヒアリングを受けました。

11/10 広瀬橋地区清掃 参加者34名

## ～会員募集～

1. 広瀬川を学び、語らい、遊び、交流が深まる
2. 広瀬川の自然、歴史、文化を総合学習に活かす
3. 広瀬川の公益活動を学ぶ
4. 広瀬川の政策提言を考える
5. 清掃などに参加し、地域貢献証明書が得られる



(11/10 広瀬橋上流)

(年会費：法人1万円・個人5千円)

## NPO法人広瀬川の清流を守る会

☎022-247-6522 ✉ [info@hirosegawa.com](mailto:info@hirosegawa.com) URL [www.hirosegawa.com](http://www.hirosegawa.com)

〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目2-16-201 (昭和宅建内)